

山都町役場本庁舎W受賞

くまもと景観賞受賞



優れた景観に貢献する建築物や街並みに贈る「平成27年度（第28回）くまもと景観賞」の授賞式が行われ、山都町役場本庁舎が受賞しました。

周囲の屋並みに配慮した屋根型をもち、町特産の茶の実をモチーフとしたシンボルマークが配され、また各所には地元産のヒノキやスギが活かされるなどのデザインが採用され、町の誇りを象徴することとなった。基礎工事で掘割った石を組み、合併3町を表していることを映す植物が中庭に植えられていること、斜面である敷地の地形と調和させ、建物の各階に駐車場にアプローチ

審査員からは、「建物脇を流れる水の音を聞きながら、町民がこの地の誇りを確認し、未来に向けた会話が活発に交わされる場になることを願う。」と述べられました。

熊本県木材協会連合会賞受賞



第21回（平成27年度）熊本県木材利用大型施設コンクールにて、山都町役場本庁舎が熊本県木材協会連合会賞を受賞しました。

本コンクールは、県産材需要拡大県民運動の一環として実施され、県産材を利用する優れた木材利用大型施設等を顕彰することにより、県民の県産木材の利用に対する意識の高揚と、県産木材の需要拡大の推進を図ることを目的に行われています。

町有林のヒノキ材を有効に活用した、住民が最も触れやすい窓口カウンターは、身体に優しく、木材の温もりを感じられる設計となっています。また、天井の照明器具周りもスギの無垢材で作られ、木本来の良さを打ち出した照明器具が、一つのアイコンとして親しみを与えられるようにと考えられました。

選考委員コメントでは、「室内の優しさ柔らかさをつくり出すために、建築のために蓄えていた町内産のヒノキ板が全て床やカウンターに使われていることや、木質の印象を強めるために連続的に配置された天井の照明器具周りのスギ材も、壁面・天井の白さと対比して木質が映えていること。また、防災拠点にもなる1階の多目的ホールは、工事で出た岩盤を積み上げ、地域に育つ木々を植えた中庭を望むゆつたりとした町民憩いの場となっている。」などが上げられ、受賞に繋がりました。



熊本県立矢部高等学校

〒861-3515 上益城郡山都町城平954番地
tel: 0967-72-0024 fax: 0967-73-1030

緑科学科2年生石橋石工体験研修

平成28年2月5日（金）実施

上益城郡山都町の通潤橋（国指定重要文化財）や下益城郡美里町の霊台橋（国指定重要文化財）など、巨大な石造アーチ橋は、国内最大、かつ最高の技術を持つ石橋として有名である。矢部高生が、石橋石工の素晴らしい技術を学ぶことを通して、地域の歴史や文化に興味・関心を高めながら、石造文化財を維持修理する技術を学びました。また、日本の美しい古里の風景を創り出す貴重な技術文化に触れる貴重な体験でした。



はじめての矢部高校1日スキー実習 IN 五ヶ瀬

平成28年2月9日（火）実施

当日は風が強くなりリフトが止まってしまう、残念ながらスキーはできませんでした。しかし、みんなでソリをして楽しく一日を過ごしました。



矢部高校校内百人一首かるた大会

平成28年1月14日（木）実施



生徒と先生と一緒に参加しての大会は、大切なコミュニケーションの場

☆第37回熊本県高等学校小倉百人一首かるた競技大会県大会入賞

《県大会結果》

平成28年1月30日（土）熊本県教育会館開催

【優秀賞：普通科2年 佐藤悠希君 渡辺裕里奈さん 春木香澄さん 田中彪雅君】
【敢闘賞：食農科学科2年 藤原麻奈未さん 村岡夢さん 木村保奈美さん 平田将也君】
【敢闘賞：食農科学科1年 池田 涼さん 米倉可菜さん 高森雄晨君 亀谷舞衣さん】